

経営刷新3カ月 原点に戻り再建

自動車用点火コイル 国でのカルテル事件の
大手のダイヤモンド電 責任をとり辞任。以
機が経営体制を刷新し 降、攻めの経営が後退
てから3カ月がたつ し、本業と路線違いの
た。6月の株主総会で 子会社設立などで離職
会社側の取締役選任議 者も増えていた。人心
案に対するオーナー家 荒廃を見かねた株主か
側の修正動議が可決さ ら再建を託された小野
れて社長を含む取締役 社長に道筋を聞いた。
全員が退任し、コンサ 〇
ルディング会社代表だ ー10月3日、経営理
った小野有理氏が社長 念に、ものづくりの
に就任した。2014 文言を付加しました。
年にオーナーで大株主 「当社はものづく
の池永重彦元社長が米 集団。ものづくりを通

ダイヤモンド電機社長
小野 有理氏



点火コイル5年後「世界一」

の塚本（大阪市淀川 力はあり、抑制してい
区）の本社に戻し、原 人と技術への投資を
おの・ゆうり 01年（平13）早大第一文
卒。00-03年早大ラグビー蹴球部コーチで、
03年に清宮克幸監督の下、同部の13年ぶり大
学日本一に貢献。05年にユリスコムコンサル
ティングを設立して社員研修、講演活動など
行う。16年6月ダイヤモンド電機社長。74年
生まれ、41歳。大阪府出身。

じて顧客の発展に寄与 ー委任型執行役員制
すべきだ。15年設立の 度も導入しました。
子会社ダイヤモンドピ 「特定部門の業務の
ジネスは単体で100 意思決定と執行を担う
0人に満たない社員の が、笛が鳴ったら全て
400人超が出向し、 責任があると思つてほ
請負などの異なる事業 しい。ラグビーで担当
を推進。社員は追い出 エリア外の責任は持た
されたと感じるなど苦 ないというラガーマン
しみ、傷ついていた。ま はいない。結果責任は
ず、製造部門約200 私だが、実施責任は負
人の出向を解除した」 つてもらう。前経営陣
る。本社機能は創業地 5本の指。競合に伍す

は15年度の無配当（予 点に戻る。大阪事務所
想は10円）を5月に突 は引き払い、17年4月
然開示した。いろいろ 10日の80周年記念日は
数字をつかんでいたは 塚本で迎える」
ずで、皆さんの感じ ー中期経営計画の策
定を進めています。
「11月にも示す。5
年後に点火コイルで世 界一を狙いたい。14年
度は世界シェアで3本 指す指導を行った」

再開する。資金のめど 年来の付き合いです。
はつけた。誰も2番は 「中興の祖、故池永
覚えておらず、1番が 薫爾会長にお会いし、
生き残る道。車用電装 ものすごい気迫で射貫
品や、家電用電子機器 かけ、社員の鍛錬を引
事業などの成長も重要 き受けた。人としての
な要素だ」 考え方、姿勢を問い、
ー若手指導のコンサ 自身を律して、おのず
ルタントとしてダイヤ から物語を創る人を自
モンド電機社員とは10 指す指導を行った」

記者の目

古豪復活劇に期待
栗田裕功前社長ら前経営陣は
カルテルを受け、池永元社長が
進めた成長戦略をリセット。モ
ノづくり以外に活路を求めた。
工場従業員を子会社出向の形に
変えるなどで社員は疲弊。助け
を求められた池永元社長は、同
窓で強いリーダーシップを持つ小野氏に
「良い会社にしてくれ」と託した。在阪同
業他社は多くが支持、支援の方針で、小野
社長による古豪復活劇を期待したい。
(大阪・松中康雄)